

第 3 回 結城南中学校区新設校推進委員会議事録

結城市教育委員会

第3回 結城南中学校区新設校推進委員会議事録（要旨）

- 日 時 令和5年10月26日（木曜日）午後6時30分から午後7時50分
- 場 所 結城市役所 1階 多目的スペース
- 出席委員
- | | | |
|-----------|----------|----------|
| 委員 塚田 裕史 | 委員 田村 俊之 | 委員 栗山 良一 |
| 委員 海老根 健治 | 委員 渡邊 孝典 | 委員 井上 徳伸 |
| 委員 齊藤 貴樹 | 委員 石崎 裕子 | 委員 山中 淳一 |
| 委員 山中 裕太 | 委員 塚本 孝一 | 委員 赤塚 英男 |
| 委員 池田 浩一 | 委員 大島 茂男 | 委員 五十嵐 隆 |
| 委員 江連 浩 | 委員 上野 豊 | 委員 小島 睦 |

○教育委員会事務局

教育部長 大木 博

学校教育課長 福井 恵一 主査兼小学校新設推進係長 和泉田 真

主事 石川 司 学校再編コーディネーター 杉本尚志

参事兼指導課長 湯本 勝洋

●次第

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議事
 - (1) 各専門部会からの報告について
 - (2) その他
- 4 その他
- 5 閉会

○要旨

1 開会

2 委員長あいさつ

- ・本日の会議は、前回に引き続き各専門部会における協議事項などの報告になる。
- ・各部長には、会議の内容により招集する委員の選定や具体的な協議の進行等ご苦勞をいただいている。
- ・委員の皆様には、各専門部会からの報告内容を十分吟味し、総合的な意見や質問をお願いしたい。

3 議事

(1) 各専門部会からの報告について

【幹事会】

- ・9月から各専門部会で活発な議論を進め、着々と統合に向けての動きが進んでいる。中学校でも統廃合を見据え、取り入れていけるものについては来年度の新生生の学年からの適用を検討しているところである。

【地域連携部会】

- ・事務局の原案をもとに、運行ルート、乗降場所、バスの台数等について
- ・保護者のスクールバスの運行等の理解について
- ・新設校や乗降場所までの徒歩通学の立哨について
- ・スクールバスの利用地域と徒歩通学区域の範囲について

【教育課程部会】

- ・ふるさと学習（ふるさと科）の充実、外国語活動と英語科の充実、ICT・プログラミング教育の推進について
- ・ICT教育、プログラミング教育の進捗状況について
- ・タブレット活用の問題点について
- ・ふるさと学習の推進について

《意見》

- ・タブレットの更新はいつごろの予定か。
- ・スペックの容量不足ということだが、データの一元化やクラウド化の検討はあるか。

《回答および事務局説明》

- ・導入が令和2年度で、概ね5、6年程度で更新の計画になっている。
- ・取扱うデータにより管理は変わってくるが、セキュリティ上特に問題のないようなものについてはクラウドサービスの活用も考えている。

【学校生活部会】

- ・校外学習について
- ・日課表について
- ・各学校行事の共通理解について
- ・家庭環境調査票について

《意見》

- ・家庭環境調査票と保健調査票は、今後も紙ベースで検討しているのか。また、変更がなければそのまま更新されていくようなデータベースの管理になるとありがたい。

《回答》

- ・使いやすいもの、活用しやすいもので検討をしていきたい。紙ベースになるか等も併せて検討していく。

【学校運営部会】

- ・新設校の基盤となるキーワード、ビジョン、教育目標、学校像等について
- ・新設校の愛称や校名、校歌、校旗について

【施設整備・予算部会】

- ・学校図書の整理について
- ・学校図書館司書の今後の作業について
- ・廃棄図書について

(2) その他

【事務局】

- ・スクールバスの運行に関する市の考え方について
- ・基本設計の平面図案について

《意見》

- ・各小学校をスクールバスの起点に検討していくこととなった理由はあるのか。
- ・各小学校を乗降場所にするのはいいが、跡地利用として他に申込みがあった場合にはどうするのか。
- ・子どもたちの乗降は学校の中で行うのか、道路沿いで行うのか。
- ・推進委員会の名称は開校までこのままなのか、仮称なり名前が決定したら変更させるのか。
- ・新設校の出入り口について、信号機はつくのか、この場所が絶対なのか。
- ・登校の時間は全学年同じ時刻か。授業開始時間も一律か。
- ・下校や避難時の避難経路を検討した場合、児童数に対して昇降口や掃き出し窓の少なさが疑問である。
- ・学童について、決定次第平面図にも学童の場所等を入れてほしい。
- ・一斉下校の場合、高学年を待っている間、その低学年の子どもたちは誰が見るのか。
- ・緊急時の避難場所等、安全確保はできるのか。
- ・南の方の地域には運動公園や広場がない。敷地周辺に空き地があるので、空き地を利用してそういったものができたらいいのではないか。

- ・教室の間仕切り壁について、構造壁かパネルのどちらで検討しているのか。また改修等を見越して作っていくのか。

《事務局説明》

- ・現在通学路として安全確保がされていることが理由の一つである。
- ・現段階では乗降場所として確定はしていないが、安全性が確保できる場所の選定、調整を行っていきたい。
- ・子どもたちの乗降は、安全を考えて学校の中で行う考え。
- ・令和9年度の開校を待たずに、できるだけ早いタイミングで仮称なりの決定をできるように考えている。
- ・信号機の設置については警察との協議が必要になる。
- ・今現在設置されている信号機との距離等も関係するため、警察の方に相談し指導を仰ぎたい。
- ・登校時間は、スクールバスの運行ルートや乗降場所の数等によっても変わるため一律にはならないと考える。授業開始時刻は同じなので、バスの利用者と徒歩通学の子どもたちが家を出る時間にあまり差が出ないように調整していく。
- ・帰りの時間は、保護者のお迎えの負担も考え、低学年と高学年の下校時間が一緒になるような検討をしていく。
- ・避難経路について、設計業者と法的なところも含め検討していく。
- ・登下校時のシミュレーションも含め子どもたちが安全に通学できる環境を検討する。
- ・学童については、結城南中学校と十分相談しながら適切な場所の検討をしていく。
- ・各担当部署を通じ、できるだけ早く場所の提示ができるように調整をしていく。
- ・低学年の子どもたちについて、まだ決定はしていないがコミュニティ・スクールとして地域の方やボランティアなどに学校運営に参画してもらう事例もあるので、今後も検討していく。
- ・新設小学校を中心とした周辺エリアの整備について、教育委員会の範疇を超える部分もあり、全庁的な協議として検討を進めていくことになると思われる。
- ・普通教室の間仕切り壁について、基本的に構造壁になるが、児童数の変動等もあるため変更に対応できるような検討もしていく。

4 その他

【事務局説明】

- ・通常では12月の開催になるが、学校の冬休みや年末年始の関係もあるため、次回の開催は1月下旬頃を予定している。
- ・新設校の設置と並行し、学校跡地についても協議を開始している。行政利用や地域利用などについてのアンケート調査等を実施予定である。

5 閉会